

発達・加速はゆるやかに。エコドライブを心がけよう。

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。 TOYOTA

～地球を守るために、身近な樹木とふれあおう～ 美しい未来のための環境教室

子どもたちに木のぬくもり、大切さを感じてもらう「第7回夏休み親子環境教室」(愛媛新聞社主催、愛媛トヨペット共催)が7月12日、松山市空港通5丁目の愛媛トヨペット空港通本店で開かれました。「森へようこそ。森から学ぼう!森と遊ぼう!」をテーマに、親子連れ約50人が木や竹、種を使ったネイチャークラフト制作に挑戦したり、身近な森について学んだりしました。

愛媛トヨペットの横田知明常務取締役が、同社の企業カラーである緑色を配した整備士のつなぎを着て登場。「愛媛トヨペットでは毎年植樹用の苗木や、間伐材でつくった木製のすのこを寄贈を続けるなど、緑を大切にする活動に取り組んでいます。今日は、身近な森の中にあるものを使って楽しい作品を作ってください」と呼び掛けました。



森を知ろう!

参加者はまず、「森を知ろう」と題した講義に耳を傾けました。講師の森林インストラクター宇都宮東吾さん(83)が「3,000年前の地球は陸地部分の5割が森林だったけれど、現在は26%ほどに減少しています」と世界の植生分布を説明し、草木がほとんど生えない砂漠(20%)や、サバンナ(13%)が広がっている現状を報告しました。

さらに森林の模型や写真パネルなどを掲げながら、木々の種類や森の成り立ちを解説。「木が集まって林になり、さらに森になります。森には、人間が手を加えないで自然に育った森や、木材生産のため植樹された人工林がありますが、家族連れでキャンプやバーベキューなどができる「楽しい森」が増えていくと、もっと森林への理解が深まると思います。自然観察で一番大切なのは、自分の目でしっかり見ること。自然に興味を持つことから、環境の勉強が始まります」と話しました。

マイ動物園をつくろう!!

参加者は、ネイチャークラフト制作に挑戦しました。材料は、宇都宮さんが身近な森や緑地公園などで拾ってきた木の実や種、枝です。子どもたちは、種類ごとに分けられた木の実や種、小枝を手にして「これでカブトムシを作ろう」「海の生き物はどうか」と家族で相談しながら素材をそろえました。種の形状や色を見ながら、あれこれ想像を働かせて自分だけのオリジナル作品を作りました。

母親と参加した小学6年の水元光騎君(11)はシマトネリコの流線型の種を使ってトンボの羽根にしました。家族4人で参加した小学2年の中正和花ちゃん(7)は、光沢のあるマメの実を甲羅に見立てて、今にも動き出しそうなカニを制作。その隣にカラフルに色付けされたキリの実で虹色のフクロウも作りました。弟の青志君(4)は、イガイガのフウの木の実に、フセンカズラの白黒ツートンカラーの種を目玉にしてハリセンボン親子にするなど、思い思いの「マイ動物園」を次々と完成させていきました。



森と遊ぼう!!!

クラフト制作の次は2班に分かれて、木の実クイズやゲームを楽しむ「森と遊ぼう」と、ハイブリッドカー教室を順番に行いました。

クイズは、5種類の木の実や種が用意され、それぞれ何の木かを当てもの。見慣れたヒマワリの種やギンナンは正解が多かったものの、真っ赤な大きなソテツの実は初めて見る子どもも多く、「小学校にソテツの木はあるけど、実は初めて見た」と驚いていました。その後、大人と子どもがマツの葉を引っ張り合って勝負する「松葉切りゲーム」もあり、勝ち負けが決まると大きな歓声が上がっていました。勝ち星の多かった子どもには、宇都宮さんからギンナンの実を削って作った笛がプレゼントされました。



ハイブリッドカー教室

ハイブリッドカー教室では、愛媛トヨペットサービスグループの佐藤威瑞さんを講師に、トヨタのハイブリッドカー「プリウス」や超小型電気自動車「コムス」を見学しました。エンジニアから「エンジン」と「モーター」の両方を使ったハイブリッドカーの仕組みや、開発の必要性などの説明を受けた子どもたちは環境問題に対応していく自動車の技術開発について楽しみながら学びました。すべての講座を終えた子どもたちにはカブトムシのプレゼントもありました。小学4年の嶋山諒君(10)は「家でカブトムシとクワガタムシを幼虫から育てているので、新しい仲間が増えてうれしい」と笑顔で話していました。



広告

街とつながる、あなたとつながる。

GreenLife 応援活動

森からの贈りもの

森ってなんだろう?

とても大きい木が何本も何本も集まっています。その木々は、多くの根っこを土の中にはり、ずっしりと立って動きません。雨が降ると、しずくは落ち葉の間を通過して土の中にもぐります。もぐった雨水は、一滴一滴、岩や砂の間からしみ出し、やがて小さな流れとなって、谷や泉へとわき出ます。いろいろな場所から集まった小さな流れは、山の間をぬけると川になり、はるか遠くの海へと進んでいくのです。

森の生き物

森には山菜やキノコなどの植物、イノシシやシカなどの動物のほか、虫や鳥など、いろいろな種類の生き物がたくさん住んでいます。川には、アユやヤマメ、ウナギなどが泳いでいます。ぜんぶ森の恵みです。その森の恵みである命をいただいて、私たちは暮らしています。

大切な森に感謝しながら、みんな一緒に生きているんだということを忘れないように街、人、そして地球のこれからのがもっとも豊かになることを願って愛媛トヨペットはこれからも環境保全活動を行っていきます。

■松山市への贈呈式

■愛媛トヨペットの森

松山市へ間伐材を使用した木製ベンチを贈呈しています

愛媛県と連携し、社員が間伐材や植樹などの緑化活動に取り組んでいます

今年で40周年を迎えた「トヨペット ふれあいグリーンキャンペーン」の1つとして、ハイブリッドカーを1台ご購入いただくごとに、愛媛県に苗木を1本寄贈する「ハイブリッド グリーンプロジェクト」。このたびはソメイヨシノなど569本の苗木を寄贈させていただくことができました。引き続き、今年も4月から12月までにご購入いただいたハイブリッドカーの台数と同じ数の苗木を、感謝の気持ちを込めて寄贈いたします。

夏休みは、ハイブリッドカーに乗って

家族いっしょに
お出かけしよう!!

ALPHARD

ハイブリッドX(7人乗り4WD)
ボディカラーのラグジュアリーホワイトパールクリスタルシャイン
ガラスルーフ(086)はメーカーオプション(32,400円)。

JC08モード
18.4 km/L

photo: アルファード ハイブリッドX 車両本体価格 4,155,055円(税込み)

※1.国土交通省審査値。燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用時)に応じて燃料消費率は異なります。 ※2.メーカーオプション装着により、車両重量が2110kg以上の場合18.4km/Lとなります。

※3.ハイブリッドシステム、タイヤ交換用工具付きの価格です。 ※価格にはオプション価格が含まれていません。 ※送料、税金(含む消費税)、登録料などの費用は別途申し受けます。 ※ハイブリッドカーは騒音、自動ブレーキの提供で実際の色とは異なって見えることがあります。詳しくは店舗スタッフまでおたずねください。 ※自動車リサイクル法の施行により、リサイクル料金が別途必要となります。

ともに これからも ずっと
愛媛トヨペット

- 空港通本店 / ☎089(972)0411
- 三島川之江店 / ☎089(970)1288
- 大洲店 / ☎0893(25)0821
- 松山中央店 / ☎089(916)1000
- リビット新居浜 / ☎0896(58)5252
- 宇和島店 / ☎0895(27)0231
- 小坂店 / ☎089(934)7878
- 今治店 / ☎0898(32)6611

お客様相談テレホン ☎0120-118-567

全店夜7時まで営業

第40回トヨペットふれあい
グリーンキャンペーン

これまで植えてきた苗木は約40万本以上。これからも緑あふれる豊かな街づくりに取り組んでまいります。

エコとパワーを両立したトヨタのハイブリッドラインナップ
HARRIER Esquire ALPHARD SAI
PRIUS PRIUSX PRIUSiPHV AQUA

もっとクルマの話、しませんか。 Answer, for you. TOYOPET